

	名称	箇所名	実施結果(令和3年3月時点)				計画当初の状況(平成20年7月時点)		計画当初における整備イメージ(平成20年7月時点)	
			担当部署	結果	時期	理由	水源	状態	整備形態タイプ	整備概要
水辺再生事業	事-1 烏山川せせらぎ再生事業	烏山川緑道(品川橋～勝橋)	公園緑地課	完了	平成28年度		なし	・周辺に区役所や教育施設、広域避難場所がある	河川・水路再生タイプ	地下水を活用し、避難所の災害時の生活水を確保するとともに、平常時にはせせらぎに活用する 住民が身近に水とふれあい親しめる流れを整備し、隣接する城山小の環境学習の場としての活用を進める 区役所・教育施設と一体的に整備する
	事-2 烏山川おもかげ再生事業	烏山川緑道(大橋～経橋)	公園緑地課	完了	平成20年度		水道水	・城山通りと農大通りの交差点にあり、憩いの場所となっている ・緑道が改修予定である	河川・水路再生タイプ	経堂大橋から上流の約20m区間を対象として、H20年度の緑道整備にあわせて水辺整備を行う
	事-3 蛇崩川おもかげ再生事業	小泉公園	公園緑地課	完了	平成21年度		水道水	・もとは噴水があり、下水道局で占用(雨水貯留の立て坑工事)後、現状復旧予定	水遊び場タイプ	H19実施予定の住民アンケートに基づき検討を行う(噴水やジャブジャブ池などの流れをつくる)
	事-4 上野毛自然公園水辺再生事業	上野毛自然公園	公園緑地課	完了	平成22年度		湧水 雨水	・湧水不足で整備した菖蒲園が雑草化している ・道路脇の湧水を導水する設備があるが、十分に機能していない	自然生態系タイプ	水源の確保 ・道路拡張に伴う集水管の設置などによって道路脇の湧水を取水する ・丸子川の水を取水する(都と協議) 柵、散策路の再整備(菖蒲池周辺) 看板の設置
	事-5 等々力渓谷湧水再生事業	等々力渓谷公園	公園緑地課	完了	平成19年度		湧水 河川水	・未整備の湧水源、池がある ・園路から水面が見えにくい	自然生態系タイプ	3箇所の湿地を整備対象とし、現状維持を基本とする かつての在来湿地植生の保全・再生 湧水池の泥の浚渫 周辺の下草や一部樹木の整理(枝払いやシュロの伐採などをして園路から水辺が見えるようにする) 湿地からの湧水の流出口の修景 看板の設置(湧水があること、湧水57選、湧水の由来や貴重さなどについて)
	事-6 (仮称)深沢八丁目緑地湧水の流れ再生事業	深沢の杜緑地	公園緑地課	完了	平成21年度		湧水	・湧水による池がある ・(仮)深沢八丁目緑地から呑川親水公園まで、流出水の導水管がつながっている ・敷地内に井戸及び井戸ポンプが設置されている	自然生態系タイプ	無原罪特別保護区から(仮)深沢八丁目緑地への湧水の流れの整備 (仮)深沢八丁目緑地の敷地内の整備(樹木整理、園路の整備など) 流出水は呑川親水公園へ導水
	事-7 (仮称)喜多見東地区親水公園整備事業	喜多見東記念公園	公園緑地課	完了	平成25年度		湧水	・1号公園予定地の湧水、喜多見小前の水路は枯れている ・喜多見小で地下水を汲み上げ、池に使用後排水している	自然生態系タイプ	上流の喜多見小前の水路とつながる流れの整備 ・水源を確保し、ピットを設置して循環させ、オーバーフローを自然流下させる ・流れを設置する水路の位置は、近隣の宅地から離す ・排水は既存水路へ流せる可能性がある 喜多見小の池(汲み上げた地下水を利用)の流出水を水源とする
	事-8 谷戸川親水空間整備事業	谷戸川	工事第二課	実施中	平成24年度～令和5年度(予定)	八之橋までの河川改修工事(張り出し歩道設置含む)が令和5年度までの予定である。	河川水	・流域の雨水幹線整備が進んでいるが、砧公園の雨水が流入するなど、自然河川の要素が残っているため、谷戸川の河道計画の検討が必要で、基本計画の見直しを予定している ・集水域の下水整備で雑排水は汚水管で処理され水質は改善されたが、水量が少なくなっているため、平常時の水量確保の検討が必要である ・転落防止柵が老朽化し、河床が固く植物が生育しにくい	河川・水路再生タイプ	親水と治水を両立した整備を行う
	事-9 大蔵六丁目水辺整備事業	大蔵六丁目地内	工事第二課	概成(概ね完了)	平成18年度～平成22年度	護岸の整備を行った。今後、社会情勢や区民ニーズを踏まえ、必要に応じて考慮することが望ましい。	湧水	・工場などが脇に並んでいる ・不法占用があり、幅員が狭い ・道路からのアプローチが少ない	河川・水路再生タイプ	護岸の整備と左岸側に歩行者用通路の整備を行う
	事-10 (仮称)八幡山三丁目水際の散歩道整備事業(自転車歩行者道整備)	八幡山3-37先	工事第一課	概成(概ね完了)	平成21年度 平成25年度	自転車歩行者道及び修景側溝と浸透貯水槽を整備した。今後、社会情勢や区民ニーズを踏まえ、必要に応じて考慮することが望ましい。	なし	・開渠の水路はあるが、水は流れていない	河川・水路再生タイプ	自転車歩行者道の整備の中で流れの整備を行う
	事-11 防災井戸整備事業	12箇所	公園緑地課	完了	平成19年度～平成27年度(27箇所)		地下水	・広域避難場所に指定されている公園、または防災井戸の不足している地域の公園で、防災井戸が必要である	防災井戸タイプ	防災井戸と併せて、可能な場所では災害用トイレも設置する
水辺再生構想	構-1 (仮称)大蔵緑地湧水せせらぎ整備構想	(仮)大蔵緑地	公園緑地課	実施予定	未定	今後、「世田谷区みどりの基本計画」に基づき実施する予定。	湧水	・大蔵三丁目緑地から大蔵運動公園の崖下まで湧水による流れがある ・流れは丸子川親水公園に導水しているほか、一部は仙川へ流している ・大蔵運動公園の崖下の流れ沿いの園路は、幅員が狭い ・大蔵運動公園に隣接して、(仮)大蔵緑地を整備する予定である	自然生態系タイプ	大蔵運動公園と(仮)大蔵緑地を一体として水辺を整備する 湧水の水源や流れについて看板を設置する
	構-2	玉川上水緑道(甲州街道～ゆずり橋)	公園緑地課	未完	未定	京王線連続立体交差事業が事業中のため、近々での実施が難しい。今後、社会情勢や区民ニーズを踏まえ、必要に応じて考慮することが望ましい。	河川水	・開渠の水路がある ・高木が多いため暗く、歩道は狭い ・水面が遠く、水量が少ない ・国の史跡に指定されている	河川・水路再生タイプ	甲州街道に隣接する広場の看板をリニューアルする 公園灯を増やすなど、明るく歩きやすい歩道とする(特に京王線高架下)
	構-3 玉川上水再生構想	玉川上水緑道(ゆずり橋～大原橋)	公園緑地課	概成(概ね完了)	平成30年度	子どもの遊び場、広場を整備した。今後、社会情勢や区民ニーズを踏まえ、必要に応じて考慮することが望ましい。	河川水	・上水は暗渠となっており、上部が緑道となっている ・緑道が老朽化している ・水量が少ない ・ラジオ体操、盆踊りの会場として使われている	自然生態系タイプ	緑道にせせらぎを設置する 子どもの遊び場、広場、ピオトープなどを設置する 水源の確保(1.地下水の循環 2.玉川上水の水量増加 3.水道水)
	構-4	玉川上水第二緑道	公園緑地課	未完	未定	オープンスペースが少ない地域に位置しており、防災上や地域住民の活用状況を鑑み、近々での実施が難しい。今後、社会情勢や区民ニーズを踏まえ、必要に応じて考慮することが望ましい。	河川水	・上水は暗渠となっており、上部が緑道となっている ・緑道が老朽化している ・水量が少ない ・ラジオ体操、盆踊りの会場となっている	自然生態系タイプ	開渠にする 水源の確保(1.地下水の循環 2.玉川上水の水量増加 3.水道水)